がん種　食道がん

レジメン名　PEM＋FP療法

番号	薬剤名	投与量	投与方法	投与時間	備考	投与日 0	1	2	3	4	5	6	7	…	14
1	イメンドカプセル	125mg	内服	60-90分前			○								
		80mg		午前中				○	○						
2	生食注シリンジ	10ml	静注		投与前フラッシュ用		○								
3	生理食塩液	500ml	点滴静注	1時間			○								
4	キイトルーダ点滴静注	200mg	点滴静注側管	30分	インラインフィルター使用		○								
	生理食塩液	100ml													
5	生理食塩液	500ml	点滴静注	1時間			○								
	硫酸Mg補正液 20mEq/20ml	8ml													
6	アロキシ点滴静注バッグ	1袋	点滴静注	15分			○								
	デキサート注射液1.65mg	6管													
7	生理食塩液	500ml	点滴静注	2時間	全量500mlに調製		○								
	シスプラチン点滴静注	80mg/㎡													
8	生理食塩液	500ml	点滴静注	24時間			○	○	○	○	○				
	5-FU注	800mg/㎡													
9	生理食塩液	500ml	点滴静注側管	2時間			○								
	フロセミド注20mg	1管													
10	生理食塩液	500ml	点滴静注側管	2時間			○								
11	生食注シリンジ	10ml	静注		抗がん剤終了後ロック用						○				
＊	生理食塩液	50ml	点滴静注側管	15分				○	○	○	○				
	デキサート注射液1.65mg	4管													
＊	生理食塩液	1500ml	点滴静注側管	6時間	500ml×3袋			○	○						

＊day2~施行

1コース期間
（次のコースまでの標準期間）　21日

総コース数　制限なし（シスプラチンのみ６コースで終了）

休薬規定及び減量規定、中止基準

●腎機能障害がある時のｼｽﾌﾟﾗﾁﾝの減量基準

45＜Ccr≦60	80%に減量
30＜Ccr≦45	60%に減量
Ccr ≦ 30	中止

●血液毒性

	／mm³
白血球数	＜3,000
好中球数	＜1,500
血小板数	＜75,000
	g／dL
ヘモグロビン	＜10.0

＜シスプラチン　・　５－ＦＵ＞
Grade2以上の有害事象で減量あるいは休薬を考慮

＜キイトルーダ＞
Grade2以上の免疫関連有害事象（ｉｒＡＥ）で休薬を考慮

＜減量方法＞

	ＣＤＤＰ	５－ＦＵ
1段階減量	60mg/㎡	600mg/㎡
2段階減量	40mg/㎡	400mg/㎡

その他

初日　：　抗がん剤投与終了後、尿量2,000ml確保する。
day2～5　：　デキサート投与は、５－ＦＵ更新前でなくても良い。